



夏の甲子園クイズ



第1問

夏の甲子園（全国高等学校野球選手権大会）が初めて開催されたのは何年のことでしょうか？

- ① 1915年（大正4年）
- ② 1920年（大正9年）
- ③ 1925年（大正14年）

第2問

夏の甲子園の開会式で歌われる「栄冠は君に輝く」の作詞者はだれでしょうか？

- ① 西條八十
- ② 加賀大介
- ③ サトウハチロー

第3問

甲子園球場がある都道府県はどこでしょうか？

- ① 大阪府
- ② 京都府
- ③ 兵庫県

第4問

夏の甲子園で最多優勝回数を誇る高校はどこでしょうか？

- ① 早稲田実業（東京）
- ② 中京大中京（愛知）
- ③ 松山商業（愛媛）

第5問

1998年（平成10年）の夏の甲子園で、松坂大輔投手がノーヒットノーランを達成して優勝した高校はどこでしょうか？

- ① PL学園（大阪）
- ② 横浜（神奈川）
- ③ 智辯和歌山（和歌山）

第6問

甲子園球場の外壁に生い茂っている植物は何でしょうか？

- ① ツタ（蔦）
- ② アイビー
- ③ バラ

第7問

夏の甲子園で1試合に投げた最多奪三振の記録（大会記録）として知られる板東英二選手が所属していた高校はどこでしょうか？

- ① 高松商業（香川）
- ② 徳島商業（徳島）
- ③ 明德義塾（高知）

第8問

夏の甲子園の大会歌「栄冠は君に輝く」の作曲者として知られる人物はだれでしょうか？

- ① 服部良一
- ② 古関裕而
- ③ 中村八大

第9問

夏の甲子園で「奇跡のバックホーム」として語り継がれる、1996年（平成8年）の準決勝で見事な本塁送球を見せた高校はどこでしょうか？

- ① 松山商業（愛媛）
- ② 熊本工業（熊本）
- ③ 星稜（石川）

第10問

甲子園の土を初めて持ち帰った行動が有名になり、「甲子園の土」を持ち帰る習慣のきっかけを作ったとされる出来事は何年のことでしょうか？

- ① 1937年（昭和12年）
- ② 1949年（昭和24年）
- ③ 1958年（昭和33年）

第11問

夏の甲子園で最も多くの本塁打を打った選手として知られる清原和博選手は、高校時代どのチームに所属していたでしょうか？

- ① 興南（沖縄）
- ② PL学園（大阪）
- ③ 池田（徳島）

第12問

夏の甲子園の大会期間中、毎朝球場の周りに整列してお客様を迎えるために立つのはだれでしょうか？

- ① 各高校の応援団
- ② アルプス席の売り子
- ③ 白い帽子の高校生審判員

第13問

「がばい旋風」で有名な佐賀北高校が夏の甲子園で優勝したのは何年でしょうか？

- ① 2003年（平成15年）
- ② 2007年（平成19年）
- ③ 2011年（平成23年）

第14問

夏の甲子園で1試合の最多安打記録を持つなど「やまびこ打線」で有名だった高校はどこでしょうか？

- ① 池田（徳島）
- ② 箕島（和歌山）
- ③ 天理（奈良）

第15問

甲子園球場のグラウンドに使われている土の色が白っぽいのはなぜでしょうか？

- ① 雨でぬかるまないよう特別な白土を混ぜているから
- ② 砂漠の砂を輸入しているから
- ③ 毎年漂白して白くしているから



こたえ合わせ



第1問

夏の甲子園（全国高等学校野球選手権大会）が初めて開催されたのは何年のことでしょうか？

答え：1915年
（大正4年）

解説：第1回大会は1915年（大正4年）に大阪・豊中グラウンドで開催されました。甲子園球場での開催は1924年（大正13年）の第10回大会からです。

第2問

夏の甲子園の開会式で歌われる「栄冠は君に輝く」の作詞者はだれでしょう？

答え：加賀大介

解説：「栄冠は君に輝く」は1948年（昭和23年）に作られ、作詞は加賀大介、作曲は古関裕而です。古関裕而はNHKの朝ドラ「エール」の主人公のモデルにもなりました。

第3問

甲子園球場がある都道府県はどこでしょう？

答え：兵庫県

解説：甲子園球場の正式名称は「阪神甲子園球場」で、兵庫県西宮市にあります。「甲子園」という地名は、球場が完成した1924年（大正13年）が甲子（きのえね）の年にあたることから名付けられました。

第4問

夏の甲子園で最多優勝回数を誇る高校はどこでしょう？

答え：中京大中京
（愛知）

解説：中京大中京（旧・中京商業・中京）は夏の甲子園で最多の7回優勝しています。愛知県の強豪として長年にわたり全国の頂点に立ち続けました。

第5問

1998年（平成10年）の夏の甲子園で、松坂大輔投手がノーヒットノーランを達成して優勝した高校はどこでしょう？

答え：横浜
（神奈川）

解説：松坂大輔投手は1998年の夏の甲子園で、決勝でノーヒットノーランを達成し横浜高校を優勝に導きました。「平成の怪物」と呼ばれ、のちにプロ野球・大リーグで大活躍しました。

第6問

甲子園球場の外壁に生い茂っている植物は何でしょう？

答え：ツタ（蔦）

解説：甲子園球場の外壁を覆うツタは球場のシンボルです。改修工事などのたびに一度取り外され、また丁寧に植え直されています。優勝校の選手がツタを引き抜いて持ち帰る伝統も有名です。

第7問

夏の甲子園で1試合に投げた最多奪三振の記録（大会記録）として知られる板東英二選手が所属していた高校はどこでしょう？

答え：徳島商業
（徳島）

解説：板東英二選手は1958年（昭和33年）の大会で徳島商業のエースとして活躍し、1試合25奪三振という驚異的な記録を残しました。引退後はタレント・野球解説者として長年親しまれています。

第8問

夏の甲子園の大会歌「栄冠は君に輝く」の作曲者として知られる人物はだれでしょう？

答え：古関裕而

解説：古関裕而は「栄冠は君に輝く」のほか、「六甲おろし（阪神タイガースの歌）」や「オリンピックマーチ」なども作曲した昭和を代表する作曲家です。

第9問

夏の甲子園で「奇跡のバックホーム」として語り継がれる、1996年（平成8年）の準決勝で見事な本塁送球を見せた高校はどこでしょう？

答え：松山商業
（愛媛）

解説：1996年の準々決勝、松山商業の矢野勝嗣選手が外野から本塁へ送球しタッチアウトにした「奇跡のバックホーム」は、甲子園史上最も有名なプレーの一つとして今も語り継がれています。

第10問

甲子園の土を初めて持ち帰った行動が有名になり、「甲子園の土」を持ち帰る習慣のきっかけを作ったとされる出来事は何年のことでしょうか？

答え：1949年
（昭和24年）

解説：1949年（昭和24年）、沖縄（嘉手納中学）の選手が甲子園の土を持ち帰ろうとしましたが、当時GHQの命令で沖縄に持ち込めず海へ捨てざるを得なかった悲話から「甲子園の土」文化を広めるきっかけの一つとなりました。

第11問

夏の甲子園で最も多くの本塁打を打った選手として知られる清原和博選手は、高校時代どのチームに所属していたでしょう？

答え：PL学園
（大阪）

解説：清原和博選手はPL学園高校時代、甲子園通算13本塁打という大会記録を樹立しました。1年先輩の桑田真澄投手とともに「KKコンビ」として一世を風靡し、2年連続で全国制覇を果たしました。

第12問

夏の甲子園の大会期間中、毎朝球場の周りに整列してお客様を迎えるために立つのはだれでしょう？

答え：白い帽子の
高校生審判員

解説：甲子園には「高校野球の審判員」を務めるボランティアの方々が毎年参加します。また、大会の運営を支える地元の高校生たちが「ボールパーソン」として白い帽子をかぶって活躍することでも知られています。

第13問

「がばい旋風」で有名な佐賀北高校が夏の甲子園で優勝したのは何年でしょう？

答え：2007年
（平成19年）

解説：2007年（平成19年）、公立の進学校・佐賀北高校が強豪を次々と破って初優勝を果たし「がばい旋風」と呼ばれる大フィーバーを巻き起こしました。準決勝・決勝でも劇的な逆転勝利を収めました。

第14問

夏の甲子園で1試合の最多安打記録を持つなど「やまびこ打線」で有名だった高校はどこでしょう？

答え：池田
（徳島）

解説：池田高校は1982年（昭和57年）・1983年（昭和58年）に夏の甲子園を連覇し、豪快な打撃を「やまびこ打線」と呼ばれました。指揮を執った蔦文也監督は「攻めの野球」で全国を席巻しました。

第15問

甲子園球場のグラウンドに使われている土の色が白っぽいのはなぜでしょう？

答え：雨でぬかるまないよう
特別な白土を混ぜて
いるから

解説：甲子園のグラウンドには「黒土」と「白土（鳥取砂丘の砂や淡路島の黒石砂など）」が独自の配合でブレンドされています。雨のあとも素早く水はけが良くなるよう、長年の工夫が重ねられています。